

豊かな長寿社会を実現するために

いたわ!

No.54

発行 2019.7



一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

[発行人] 鈴木一良 [編集・発行所] (一社) 茨城県福祉サービス振興会

[編集委員] 小室博俊、安藤真理子、柳下文江、菊池巧

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館5階

TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799

「茨城県介護職員腰痛予防モデル施設」 指定から1年が経過して

平成29年度指定

社会福祉法人 青洲会 特別養護老人ホーム「こほく」
社会福祉法人 芳香会 青風荘特別養護老人ホーム

腰痛予防モデル施設指定から1年が過ぎ、2施設から取組み等についての報告をいただきましたので紹介します。

茨城県介護職員腰痛予防モデル施設指定から1年が経つて、

「特別養護老人ホームこほく」からの報告

平成30年1月、「茨城県介護職員腰痛予防モデル施設」に指定され1年が過ぎました。指定を受ける前、松崎先生、黒木先生に指導を受け、移乗介助や床走行式リフトの取り扱い、体位変換の方法などを考え方の違いに驚き、良い意味で衝撃を受けた日を思いだします。

特別養護老人ホームこほくをモデル施設に選んで頂いたことで、当施設に起きた最も大きなメリットは、施設内の腰痛予防に関する職員の考え方方が変わり始めたことです。職場全体で見るとまだ発展途上ですが、担当職員は考え方があまり良い方向に動き出しました。

「自分はモデル施設の担当者である」という意識が高まり、同施設の介護士や他職種・法人内他事業所・県内の他事業所・学生の方々に、取り組みをアピールしたい、その為に、施設での取り組みを更に改善し、ご利用者の安心・快適を追求し

ていきた。関係各所との意見交換で「ここで成果を更に地域へ浸透させていくたい」との話が出るほど意識が高まっているのを感じます。

これまで、同業の方が研修生として施設に来られる機会はほとんどありませんでした。モデル施設として研修を受け入れるようになったことで、講師をする職員にとっては、研修を通じてお互いの現場で悩みを共有し、「もしかしたらこれで良くなるかもしれない」と希望を持って研修を終える姿に立ち会えることは大変貴重であり、両者にとって良い刺激にもなっています。

モデル施設としての取り組みは、まず、スライディングボードやスライディングシート、床走行式リフト、床走行移乗機等の活用が挙げられます。これによりご利用者の身体の変化、通常の姿勢に関し観察力を身につけていくことに繋がっています。

ポジショニング、シーティング、リフト等の組み合わせは、ご利用者に快適な環境を提供できることで食事量が安定し体重減少が止まり、元の体重に戻ったという事例があります。移乗介助から食事を終えるまでの介助量の合計時間が減少し、職員の介助量も軽減したという成果。この事例は、当施設において、モデル施設としてのアピールの一つになっています。

ユニットにおける課題の発見は、特に「筋緊張がご利用者及び職員の双方にとつてのしづらさ」に繋がるという事が意識でき、若い人にとって少し辛い位の姿勢であっても、高齢者にとっては大変辛いものとなり、ご利用者の状態によつてはその辛い状況を伝えることができず、筋

することに努め、効果的な機器の使用を検討しています。

症例数は
せんが、施



介護学生モデル施設研修指導（こほく）

緊張が残ったまま夜を迎え、よく休めず、日中の活動量の低下になり心身に悪影響を及ぼしている事、気づいた時にはどうにもならない状態になつていて。そういう前に、自分たちが提案できることは何だろうかと先のことについて考えるようになつたことは、成果の一つと考えます。

最後になりますが、特別養護老人ホームでは、腰痛予防に関する取り組みの意識についてとても高い職員ばかりではありません。少しずつ時間を掛けながら、高い意識の職員を増やし、内部へ知識・技術を浸透させ、より組織的に取り組めるようになることが課題となっています。極端に言えば、どの職員でも研修の講師ができるようになることが理想です。

引き続き、茨城県介護職員腰痛予防モデル施設としての活動を続けて参ります。

「腰痛予防を目指す意味」

「青嵐荘特別養護老人ホーム」からの報告

皆さんは「腰痛」と聞いてどんなイメージをお持ちになるでしょうか。あまり良いイメージをお持ちにならない方が多いのかもしれません。特に介護系の仕事においては、「腰痛は職業病」なんて言われていた事もございました。また腰痛がひどくなると日常生活に制限が出るだけではなく、職業選択の幅が狭まる事にもなつたりします。その為、腰痛の予防を行うことで、働きやすい職場づくりを目指すことが必要となつております。

そのような状況の元、当施設は2018年1月に「茨城県介護職員腰痛予防モデル施設」の指定を茨城県福祉サ

ビス振興会より受け、腰痛になりにくい職場環境づくりに取り組んでまいりました。また現在も茨城県内の介護施設で働く職員へ向けた「腰痛予防研修」の開催や、実践報告等も行つております。

では改めて考えて頂きたいのですが、

腰痛による制限が無い状態では、活動

や仕事への制限も少なくなりますし、例えば休日の朝に目覚めた時など腰痛がないだけで「起きる動作」や「顔を洗う動作」だけでも負担が軽減します。そのため「喜び」や「自由」など「笑顔」に繋がるよ

うな明るいイメージが広がつてくるのではないかでしょうか。働きやすい職場環境への第一歩は職員の笑顔から創られます。そしてこの明るいイメージを広げていく事こそが大切なのです。

実際に職場で腰痛予防を行つためには、施設及び事業所全体で取り組むことが必要です。例えば腰痛を軽減して職員個々の笑顔に繋げるというような目標を共有しなければ、時間等を気にしてしまい身体に負担の大きい介護を続けてしまふのかもしれませんし、特に女性などの小柄な職員はその事で負い目を感じてしまつことがあるかも知れません。その為、その環境を改善する必要があり、だからこそ青嵐荘は腰痛予防を使命として取り組んでいるのです。

しかし当施設も、約2年前(2017年)には腰痛予防に対する意識は薄く、入居されているご利用者を移乗する際にも、抱え上げて行う事を当たり前としておりました。そのような状況の中、元々負担を感じていた職員から「介護の負担軽減の

為にリフトを導入した意見が上がり、数種類の「移乗用リフト」を調べ、使用体験し、効果を体感する中で機器を上手く活用する事で職員の負担を減らせることを知り、導入に繋げる事ができました。またその事で一つの機器の効果を知る事だけでなく、いくつかの機器を比較し、より効果の高いものを判断できるようになりました。

そして現在は「リフト」以外にも、「マツスルスース」や「H A L (ハル) という介護ロボットや「スライディングボード」や「スライディングシート」という介護機器を使用して日常の介護に役立てております。職員自身の負担を減らしたいという思いが、より多くの機器を体験し、効果を知り、使いやすい機器を選択する事に繋げられたのです。またそれは職員個々が自分達の笑顔を目標にして取り組めたからであり、施設全体としても最大の成果なのであります。だからこそ腰痛予防を目指す意味があるのであります。

最後になりますが、当施設は現在「茨城県介護職員腰痛予防モデル施設」として、施設見学の受け入れや「腰痛予防モデル施設研修」の開催を行つております。ま



県西地区介護主任研究会での実技指導場面（青嵐荘）

今回ご紹介した2施設の他、腰痛予防モデル施設は、28年度指定の「特別養護老人ホームうみべの家」（大洗町）と、30年度指定の「特別養護老人ホームサン豊浦」（日立市）を合わせ、現在4施設となります。今年度は新たに鹿行地域他、2施設の指定を目指しています。

腰痛予防対策は、施設関係者の理解を得て継続的に行う必要があるため、当振興会は今後もモデル施設のPR・強化に努め、茨城県内の介護施設職員の腰痛予防対策の取り組みを進めていきます。

■「茨城県介護職員腰痛予防モデル施設とは？」近年高齢者福祉施設等における介護職員の腰痛による労働災害が増加しており、職員の離職の大きな原因となっています。このようなかで当会は28年度より職員の腰痛軽減と利用者の自立支援を促進するために、腰痛予防対策に積極的に取り組んでいる施設を「茨城県介護職員腰痛予防モデル施設」に指定しています。モデル施設では、他の介護施設から研修生を受け入れ介護職員を中心とした施設全体で、腰痛予防対策の普及・促進を図っています。また、昨年度より介護専攻学生の受入れを行い、腰痛予防の必要性を実技・講義を通して伝えています。

セントケア茨城 株式会社



セントケア 茨城株式会社

住所：茨城県取手市新町3-2-8

菊地ビル F号室

TEL：0297-70-0787

FAX：0297-70-0788

代表：代表取締役社長 成田 正幸

設立：平成19年11月

会・員・事・業・所・訪・問

きな価値を感じていただけるよう取り組んでまいります。

そしてその先には、地域全体がお客様を中心として有機的に支えられるよう、私たちはその一部としての確固たる機能を担い、「ミニユーティに貢献してまいります。

【事業所】

- セントケア茨城株式会社（本社事業部）
- セントケア水戸（訪問介護・訪問入浴・居宅介護支援）
- セントケアつくば（訪問介護・居宅介護支援）
- セントケア友部（訪問介護・訪問入浴・居宅介護支援）
- セントケア取手（訪問介護・居宅介護支援）
- セントケアひたちなか（訪問介護・訪問入浴・居宅介護支援）
- セントケア石岡（訪問介護・訪問入浴・居宅介護支援）
- セントケアひたちなか（訪問介護・訪問入浴・居宅介護支援）
- セントケア水戸千波（小規模多機能型居宅介護）
- セントケア訪問看護ステーション水戸（訪問看護）
- セントケア水戸千波サテライト（訪問看護）

オープン 令和元年7月

看護小規模多機能型居宅介護
今までの暮らしを支える
地域拠点が誕生！

セントケア看護小規模水戸千波
水戸市元吉田にオープン

ウルノ商事 株式会社



住所：茨城県水戸市元吉田町1077-2

TEL：029-304-2555

FAX：029-304-2030

代表：代表取締役社長 宇留野 正義

設立：昭和38年4月

る介護保険施設・老人ホーム・病院におけるやわらか食の商品のラインナップを充実させました。咀嚼力が低下し、刻み食を摂っている方が更に楽しく美味しく召し上がるべいただくことをテーマにした商品達です。やわらか食を使ったメニュー提案、参考レシピを充実させました。お役に立てれば…と思います。ご相談下さい。

【支店】

- つくば支店（土浦市卸町2-19-16）
- 北関東支店（筑西市伊讚美1937-11）
- 東関東支店（富里市七呂米532-1239）
- 埼玉支店（加須市北平野770-1）

「2019行動指針」を次のように定めています。
 一、私たちは互いに協力し合い、自己研鑽に努めます。
 二、私たちは未来を見据え、変革に挑戦します。

【事業内容】

業務用食品全般を取り扱っております。
 冷凍食品を中心に調味料・素材等、常に2000点以上の在庫、品揃えで迅速な対応を致します。

学校給食、工場給食、病院・自衛隊給食、

ホテル・レストラン、専門料理店、仕出し、弁当、百貨店・スーパー、冷凍調理食品、一般乾物品、チルド商品、調味料、油脂類、畜産加工品、農水産品、瓶缶詰、添加物、乳製品、酒類、米穀類、その他の食品他

の喜び、楽しみは“食べる”ことです。咀嚼力が弱くても楽しくおいしく食べられ

満足、そして喜びを感じていただくなっています。サービスや商品をお届けすることは、そのための手段です。どうしたらご本人様に、またご本人様のことを大切に想つていらっしゃるご家族様に喜んでいただけるか、そのことを常に模索し、一人ひとりが主体的に考え方行動してまいります。

業所が連携することで、お客様により大



URUNO

このマークは、ウルノ商事(株)のシンボルマークです。

URUNO の4文字は、ウルノ商事が自主・独立性を尊重しあいながら、連帶して発展するイメージを表現しています。

●は太陽とそれを巡る地球の姿で、未来にかけるウルノ商事の情熱とマクロな企業視野をシンボライズしています。

第4回 通常総会

さる、5月30日（木）（一社）茨城県福祉サービス振興会、第44回通常総会が開かれ、上程された二件の議案と三件の報告事項は、全会一致で承認された。なお、任期満了に伴う役員改選がおこなわれ、以下の新役員体制が固まった。

（理事の任期は令和3年、監事の任期は令和5年の、それぞれ通常総会まで）

一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会
新役員名簿
令和元年5月30日現在

役職名	氏名	勤務先
会長（重任）	鈴木 一良	鈴縫工業（株）
副会長（重任）	野崎 潔	（株）常陽銀行
副会長（重任）	上野 義幸	（株）イエル商会
副会長（重任）	梅澤 秀樹	（株）デベロ
常務理事（重任）	沼田 英治	（株）日立ライフ
常務理事（重任）	宇田川 真由美	（株）あおば
理事（重任）	安藤 真理子	（株）フランザマーム
理事（重任）	柳下 文江	（株）ハース
理事（重任）	能本 守康	（株）ケアファクトリー
理事（重任）	堀内 義人	（株）ヤマシタ
理事（重任）	宮城 みどり	（株）チイ学館水戸支店
理事（重任）	田中 博文	（株）ロングライフ
理事（重任）	坪 愛子	医療法人三愛会
理事（重任）	野原 和夫	ウエルシア介護サービス（株）
理事（重任）	松崎 佐一郎	マツザキマテリアル（株）
理事（新任）	齋田 寿美	（社）福聖会
専務理事兼事務局長（重任）	菊池 巧	茨城県福祉サービス振興会
監事（新任）	谷口 勝明	大富印刷（株）
監事（重任）	小室 博俊	（株）筑波銀行

インフォメーションコーナー



講座・研修開講しています！

人気のある講座はキャンセル待ち状況

今年度も（一社）茨城県福祉サービス振興会及び茨城県介護実習普及センターでは介護関係の講座、研修会を開講しています。

家族の介護をする側、される側を応援します「一般県民向け福祉講座」、専門職員を対象とする「介護技術講座」また、「専門研修」、「レク・エクササイズ講座」など経験に応じて、キャリアアップできる講義内容となっています。

知つておきたい医療知識

介護関係講座に加え、急変時の対応や介護する上で必要な医療知識を深める「医療知識講座」、社会問題にもなりつつある認知症についての理解や対応を学ぶ「認知症講座」、さらに、「感染症対策講座」などの医療関係分野の講座も好評受付中です。

認定試験など

福祉用具専門相談員指定講習会やシナプロロジー®インストラクター養成講座などの資格取得講座も行っています。また、リフトリーダー養成研修修了者を対象とする「リフトリーダーフォロー定期試験」なども行います。

充実した講師陣がお待ちしています
大変好評な講座、人気のある研修

（48）

コマ）を企画、内容の充実を図るとともに、専門分野を極める実践力のある講師陣を配置しました。

詳細は、当会発行「介護講座・受講者募集のご案内」または「茨城県福祉サービス振興会ホームページ」をご覧下さい。定員に達し、受付を終了した講座もありますので、ホームページで確認してお申込みください。お待ちしております。

問い合わせ先

029（241）6939

（一社）茨城県福祉サービス振興会
研修担当まで

* * 茨城県内唯一で最大の
福祉機器展示ホールのご案内

常設展示
介護用ベッド、車イス、杖、介護用品等の約350点展示
モデルルーム（階段昇降機、浴室、洗面、手すり）の展示
介護ロボット12機種の展示
場所 茨城県総合福祉会館1階・
二階（事務室）
会館時間 9時～17時
休館日 土・日・祝日、年末年始
(但し、予約の場合可)

展示ホールでは、福祉用具専門相談員が常駐し、相談（電話相談も）をお受けしております。

問い合わせ先

029（244）4425

（一社）茨城県福祉サービス振興会
展示・相談担当まで

編集後記

梅雨本番の季節となり、どんどんとした空に覆われる日々。

その様な中、甘くほんのりとしたクチナシ（梶子）の香りが漂い、梅雨のジットリとした気分を変えてくれる。雨上がりの夕暮れには、ひとときわ強く香るといわれ、純白の白い花は、何処かしら純真で可憐に感じられる。

話は変わり、碁盤や将棋盤の足は、クチナシの実を形取つて作られている。これは、傍らで見ている人達が口出ししないように「口なし」の意味だそうである。

一階特設コーナー展示予定
6月・車イス
7月・入浴関連用具
8月・入浴関連用具

二階展示フロア、随时相談・電話相談・案内を行っております。

介護保険が利用できる補助用具、住宅改修関係行政機関・団体への案内、販売店の紹介



ロボットアシストウォーカーRT2

R T 2
電動アシストだから、坂道でも安心、快適な歩行
上り坂では自動的にアシストが働き楽に登れ、下り坂では自動的にブレーキが働きます。
また、手を離すと自動的に止まり、斜面では音声ガイダンスが流れ、転倒を防止します。折り畳み幅26cm・重さ9kg
介護保険レンタル対象 月700円前 後々ご利用できます。